



発行所 磐城日日新聞社 事務所 小名浜町五丁目 電話 51 199 51 313 55 5

### 定例區長會開く

#### 活潑な應答に終始す

小名浜町定例區長會は水野町長出席のもとに十一日午前十時より會議室(警察署裏)に於いて開催された。議案にたいして各係より説明を受け審議した。

一、昭和二十五年年度國勢調査施行に就て企畫課大浦主事

二、昭和二十五年年度公職選舉人名簿調製に就て

三、小名浜町選舉管理委員會三浦主事

水野町長より昨年の選舉人名簿には脱落が非常に多く或隣組は全部状態を脱していたような状態でありこれは國民の與えられた権利の行使を阻害するものとみられても致しかたなく國民としての義務遂行上重大な問題であり各區長は町当局と協力して一人ももれないよう萬全を期せられたいと要望した。

三、海外抑留同胞救出國民運動の署名に就て

厚生課長鈴木菊彌氏終つて協議事項に入り沙留區長青方長作氏より失業救済事業をもつと積極的に行ふことは出来ぬかとの質問あり、それに対して水野町長は事業をなすに

は第一町の財政面を檢討して實施するのであり之れも國庫の補助を受けた場合は就労人員の三分の二は職業安定所よりの割當によらねばならず、小名浜町は業者の全面的救済にはならず、そのために縣へ出張した際に労働課長と折衝し簡易失業救済事業として二十萬圓の補助を得た次第で、これと同額の二十萬圓を町より支出して救済事業にあてるよう過日の町會にはかつて予算化し近日小名浜の改修工事を開始する、また一日の就労人員は最高二十人としてその選定に對しては審査委員會を開催して決定することになつてゐる、それに引き續き第二中學校の敷地ならし工事と縣對し失業救済事業として工事申請をなしてある、この線にまつてやつて行きたい、この場合は町独自の立場でこれが予算化された際は就労人員も増加し得るものと思われると回答した。

水野町長は遠藤氏より納税完納町民に對して表彰方を要望、これに對し町長は今年度二十八萬圓の予算を計上してある、その中でその旨

言明した

諏訪區長馬目喜右衛門氏は今回全町にわたつて施行してゐるという福島縣衛生防火協會について今少し親切味をもつて丁寧に掃除しよう町当局より交渉してほしいとの希望、次に沙留區長青方長作氏より町役場吏員のうちにも甚だ不誠實なる吏員があることは町長の公言されてゐる役場内の綱紀肅正より見てか

### 洩れなく申告を希望

#### 基本選舉人名簿を調製

毎年九月十五日現在を以て公職選舉法に基き基本選舉人名簿が調製されることになつてゐる。この名簿の調製は有権者皆様の洩れなく申告によつて委員會が事實調査や本籍地へ照会等をして完全なる選舉人名簿として御承知の上、町會より御承知の上、町會より町會議員や縣會議員等の選舉はこの申告によつて調製される選舉人名簿で執行されるものでありますから有権者の皆様の一人洩れなく申告されるよう小名浜町選舉管理委員會は要望してゐる。

◎尙この度の申告書は

一戸毎の有権者を順序よく記載して他の家族と混同記載せぬよう特別に注意があつた。

團體貯金 小名浜郵便局

特別運動 長三浦宗長氏は郵政省で行う八、九月の団体貯金特別運動を展開することになり、この際各方面に協力を要請したが、団体貯金取扱は會社、工場、事業場、或は官公衛、學校その他の職場等で多數の人が集つた貯金するのの便利を制度で納税貯金と組合、貯金、給料の選數、貯金等に利用を薦めてゐる。

### 記者募集

年令、學歷を問わず、文章に興味と自信がある方、委細面談、履歴書、携帶來社されたし。

株式 磐城日日新聞社

### 浄水場ろ過池完成をひかえ 二水道委員會開く

小名浜町水道工事委員會は十一日午前九時より町長室に於いて開會した。

委員長高木忠治、委員小野直千賀、佐藤貞吾、鈴木治平、村上重一、齋藤誠吾、山野辺茂、小野作太郎、出藤政治、飯塚新四郎、草野増太郎、菅原勲各氏出席。

副議長長瀬義典氏も出席、町當局より中里技師、矢内主事出席して開會大要次の如き應答があつた。

木村工務委員長より工事遅延の原因につき工事監督二本柳氏の統制の行き届かなかつたこと、天候條件の悪かつたこと、土地掘鑿に悪条件であつたことを説明、これに對して長瀬副議長より完成の見通しは如何との質問あり、中里技師より、砂入れは本月十五日頃までの予定と回答、山野辺委員は公文書に對して高橋工業より高橋技師は無を質問、中里技師は回答はないが工事遅延の謝し今後工事促進に關して確約して歸つたと回答、そこで高木委員は二本柳とは如何なる人物であるかと質問、二本柳の性質を説明した、齋藤委員は公文書に對しては會社は一

應公文書によつて回答するのが当然ではないか、また村上委員も町より發送した公文書に對して公文書の回答は儀禮であり當然のことだといへば委員一同これに同調す。

山野邊委員は完成の予定に對して質問、中里技師より十五日頃完成の見込みと回答あり、今迄の工事経過を報告した、そこで村上委員は何故に高橋工業を入札に入れなかつたとの質問を發し、中里技師は土木課の方に願書が出ていたで入れたが、その理由は委員會は入札を承知してゐると回答すれば、村上委員は町の財政に對して町に工事請負は町の事業者にやらせるべきで將來町の財政にも相當の影響があると思ふ、町の工事費を町へ落すのが二、三の委員は町の請負者に限定することはどうかと思ふ、結果はお互に話し合ひをするかといへば、村上委員は話し合ふなどの馬鹿なことはしない、もしも話合つたとしても町には専門家があつて予算の編成をしてゐるのだからその点は心配ない、当然だ、仕事を誠實にやつてもらへばそれでよい、町の経済をよく考へてもらいたい、強調すれば、佐藤委員も安心ものと云うのがこのうた結果をもちたので、出来れば町の業者に請負すべきだと同調した、木村委員長は工事に誠意がなければいけない、砂洗機、ポンプ設置、階段工事等について現場に於いて説明を聴取されたいとの

### 整備成つた

#### 第二小學校々庭

小名浜第二小學校では去月十三、十四、十五の三日間にわたり校庭の整備に学区内自家用自動車所有者及び營業者の自動車奉仕出場の協力と各父兄の奉仕土盛り作業により、校庭の整備を行つたが去る十日磐城貨物自動車會社第二營業所及び植田町成瀬巴三氏(石城郡PTA連合會々長)の自動車特別奉仕と當岡芳川町、辨別、渚等の父兄の奉仕作業により、秋季運動會を間近にひかへ同校庭は見事に完成され登校した學童に非常な喜びと希望を與えた。

### 九面の遭難漁船救助さる

乗組員は無事

福島縣九面港渡辺喜四郎氏所有延繩船第二幸丸(一九、五四ト)は十日午後六時頃小名浜沖三哩附近で水進機のシャフトを破損し航行不能に陥り漂流中、急報に接し小名浜海上保安部、所属船「うづら号」は同日午後六時二〇分出航三時三十五分現場に到着、直ちに航索を取り微速にて曳航午後七時十五分小名浜港に歸港した。

尚乗組員は船長鈴木勇次郎外十一名で全員無事



大黒屋 齋藤晃	吟馬屋 上幸男	龜堀越 大治郎	岡崎屋 岡山武	稻屋 江尻三睦郎	ヤリ 丹清治	綠志賀 要平	大一屋 小島源一郎
住吉 電話三七番	松ノ中 電話五五番	定西 電話五八二番	本町 電話一三番	中島 電話二五四番	古湊 電話三三三番	古港 電話二九番	東町 電話九番

海外抑留同胞を救出せよ

十一日より国民運動を展開

終戦以來五年、今日尚祖國の平和再建をよそに多数の同胞が八千萬國民の身替りとして遠く異國に抑留せしめられて居るといふことは、抑留同胞はもとよりその家族並に關係者にとつて悲嘆痛恨の極であるが、抑留の根本的原因が過去に於ける誤る戦争の責任と贖罪である以上、解決は全日本人の共同責任に於てなされなければならない。

思えばソ連地帯抑留同胞は停戦の昭和二十年八月十五日を契機として滿洲或は北朝鮮、樺太

断食等身命を賭して引揚促進を呼びかけて来たのである。一方總司令部も亦之に重大なる關心を寄せ、ソ連側に對して救回に互に引揚第一線兵として、或は衛生兵看護婦として、中國全土に配置されて居るといふ現状である。更に又北朝鮮、南方に於ける抑留者たちも、全國民が公平に負ひ且つ國士すべき戦争の責任と犠牲を一身に負つて、國の地に只管救ひの手を待ちわびて居るが、若しこのまま放置せしめ、之等の同胞が永遠に煉獄の彼方に一切が解決の儘に残されて居る又中共地帯に於ける邦人は昭和二十一年八月の同地帯引揚以來奇怪にも引揚は一方的に停止され、罪なき一般婦女子を含む約十萬の同胞が強制的に抑留せしめられ、青年男女に徴用參軍を餘儀なくされて砲彈彈雨の下に第一線兵として、或は衛生兵看護婦として、中國全土に配置されて居るといふ現状である。更に又北朝鮮、南方に於ける抑留者たちも、全國民が公平に負ひ且つ國士すべき戦争の責任と犠牲を一身に負つて、國の地に只管救ひの手を待ちわびて居るが、若しこのまま放置せしめ、之等の同胞が永遠に煉獄の彼方に一切が



不可解なるままに葬り去られんとしているのである。

我々は人間基本の欲求である肉親愛、同胞愛に立ち、國際的不正義非人道を徹底的に追求してこの完全急進なる解決を圖るには正義と平和を愛する國民輿論の強力なる結果以外にないと思われ廣く世界の良識に訴へ、この問題の明快なる解決を期するため海外抑留同胞救出國民運動福島縣本部では十一月、十二月、三の三日間に至り強烈なる一大救出運動を展開することに運つた。署名運動に参加するよう切望している。

〔海外抑留同胞救出國民運動福島本部〕

日本脳炎猛烈に流行

豫防に蝨と蚊を撲滅せよ

今全国的にマンエンシといふ日本脳炎は昭和二十一年以來「コレラ」「赤痢」「チフス」などと並び傳染病であり東京では三百名以上の患者とギン患者二百五十名も発生して居ります。

本縣では十數名の疑わしい患者が出ており、いよいよ流行期に入り、またまた人間を侵す病原菌と非常に關係が深いといふ馬腸炎もすでに二十頭以上の患馬が発生して居ります。

日本脳炎は何かから発生するか、どういふ病状はつづかなかつた。この時代に高木愛二氏を編集者として自選歌集「磯浪」が十數人一人三十首ずつ集めて刊行された。その後「月刊文藝」が佐川和弘氏編集で生れたが、これは活版誌で二號で終となつた。その頃「詩南車」も三十輯を記念として、記念自選歌集(はまゆり)を出して終刊となつた。次に出版のものが浜牧泉氏編集の(とま)り火である。これも二號にしてつづれば、いよいよこの時代となつたのである。平、小

MATSUJURA

松浦靴店 平2丁目45番742

文藝遍歴

猩々寺 斌

「詩南車」は、あつたが、「詩南車」は最新平の同人誌として誕生しそれが石城一圓にひろがり、終には廣く日本中に原稿を求めるといふ事になつて、一躍天下に名を馳せるに到り中央同人雑誌に紹介されるようになつた。この雑誌に據つた人では、相当地長い期間なので離合集散はあつたが、前田夕暮の

主宰する短歌結社、「詩南車」の有数な同人となつて、現に平に在る白木英尾氏をはじめとして、非常に多数の若い人々があつたのである。そして又特筆すべきは、小名濱町が同人雑誌としてはじめての平と交流しはじまつたのである。

では小名濱はどうかあつたか。古い所では本田氏の出したた「四號」で終つたが、これとほぼ同時期に同じく丹野純一郎氏の「土」がでたが、これも長く

名濱とも同人雑誌がつぶれたのは、時代の風潮(昭和八年頃)もあつたが、同人が四散した事と、各々牙城によつて後進を指導誘掖する事を怠つたことが一番大いのである。然し石城文壇は一向衰へはしなかつた。磐城新聞(編集主幹相木哲開)を舞台として、作品行動や文學論争に拘りたる華を咲かせたのである。太田水穂の(潮音)同人で、入山炭の人事課長であつた小名濱の渡邊清子氏を訪ねて小名濱に杖を運んで居る事である。

魚介類の行商は登録制

規定違反は停止又は罰金刑

魚介類の行商から起る傳染病その他の病気を防止しようとするものとして、鮮魚介類全部とこれら加工品、冷凍したもの、煉製品等魚介を主体として登録制の行商をしようとするものは知事の登録を受けることになつた登録の有効期間は二年で登録を受けたものは容器を清潔に保つて常時清潔にすることをこの規定を守らなければならない。

12日—15日迄 4日間・磐城座特選番組堂々上映

大映超特作品

三益愛子が三度放つ母ものがたりの比類なき母情篇

母立つ前の拳銃

狙つたその人が誰の母であるとは！  
この子はなぜ母を射つたのか？ 暗黒の波止場に火と燃える母の愛に泣け、わが子の銃弾を浴びる母の世に母と呼ばれるもの、又母となる日本の全女性と共に男性もみのがしの出來得ぬ日本映画最高の決定版

製作 中代富士男  
原作 川口松太郎  
監督 小石栄一  
撮影 小石栄一  
主演 三益愛子、植村謙二郎、春日俊次、見明凡太郎、岡田英次

★キヤスト  
網島修、遠藤春吉、青木の繁

貸店舗を求む  
警察署より東、本町通、中島通、横町通  
条件は面談の上決定、急を要す  
姓名 在 社

住宅向分譲地あり  
バス停車場に近し  
希望者は來社有らじし

姓名 在 社

天気豫報

明日の天候(十三日)  
南東の風晴時々曇り  
夕刻處に雨ば俄雨  
ありませう

明後日の天候(十四日)  
南東の風やや強く曇が  
ちにて俄雨の多い天候  
でせう